

1. 調査報告概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成19年9月3日

【評価実施概要】

事業所番号	2775600675
法人名	有限会社 五和会
事業所名	グループホーム平和苑
所在地	泉南市樽井1丁目6番1号 (電話) 072-485-2424
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成19年8月21日

【情報提供票より】(平成19年7月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年1月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	15人	常勤	0人, 非常勤 10人, 常勤換算 5.0人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2階建ての	2階	～ 2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	24,000円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200円		

(4) 利用者の概要 (平成19年7月1日現在)

利用者人数	17名	男性	2名	女性	15名
要介護1	1名	要介護2	7名		
要介護3	5名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 86.4歳	最低	77歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	特定医療法人野上病院(医科)、高松歯科医院(歯科)
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

営利法人が運営するグループホームで、法人の母体病院の横に立地しています。理念として「地域の中で、普通で当たり前の生活を送り、その人らしく、豊かに、楽しく過ごし、ともに支えあい、寄り添う暮らしを支援します」を掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながらその人らしく暮らし続けることを支えていくことを目指しています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、言葉かけや態度は明るくやさしい雰囲気です。母体の病院と医療連携体制をとり、病院の看護師のサポートが利用者と家族に安心感を与えています。利用者には笑顔が見られ落ち着いた様子で過ごしています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の外部評価の指摘事項について改善の取り組みが進んでいます。玄関まわりが家庭的で訪ねやすくなり、扉には日中鍵をかけずに職員の見守りの方法を徹底し利用者は自由に外出ができるようになっていました。希望すれば家族も宿泊できるようになっており、利用者には笑顔と落ち着きがみられます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、管理者が案を作り、全職員の意見も聞きながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組んでいます。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は市介護保険課の担当者、地域包括支援センター、民生委員、介護者家族の会、利用者、家族の参加のもと2ヶ月毎に実施されています。会議では運営状況や生活ぶり、外部評価の結果の説明、今後の課題について報告し、家族会や地域との相互交流についても話し合っています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族が訪問する機会は多く、面会時には利用者の生活ぶりや往診時の受診記録をみせて健康状態を報告しています。利用者の健康や安全については必要な時には電話でも報告をしています。毎月「平和苑だより」を発行し、行事や生活状況について写真とともに報告しています。家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応するとともに、家族会の時にはアンケート調査をして要望を聞き、ご意見箱も設置して家族の意見を表せる機会を設けています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地元のお祭りで「やぐらパレード」の際には駐車場を休憩所として提供したり、ホームの花火大会に近所の子どもを招待したりしています。運営推進会議の委員でもある市担当者を通じて地元の学校、幼稚園に交流を働きかけています。同じ建物の1階に母体法人の理事長の運営するギャラリーがあり、地域の絵画関係者の展示会場になっており、地元の人が出入りしています。
重点項目④	

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として「地域の中で、普通で当たり前の生活を送り、その人らしく、豊かに、楽しく過ごし、ともに支えあい、寄り添う暮らしを支援します」を掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながらその人らしく暮らし続けることを支えていくことを目指しています。		
2	2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化されホーム内に掲示しています。採用時研修や苑内研修会で、管理者と職員は理念を共有するべく話し合っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	地元のお祭りで「やぐらパレード」の際には駐車場を休憩所として提供したり、ホームの花火大会に近所の子どもを招待しています。運営推進会議に出席している市担当者を通じて地域の学校、幼稚園に交流を働きかけています。同じ建物の1階に母体法人の理事長の運営するギャラリーがあり、地域の絵画関係者の展示会場になっており、地元の人が入りしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の指摘事項について改善の取り組みが進んでいます。自己評価は、管理者が案を作り、全職員の意見も聞きながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組んでいます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は市介護保険課の担当者、地域包括支援センターの職員、民生委員、介護者家族の会の会員、利用者、家族の参加のもと2ヶ月毎に実施されています。会議では運営状況や生活ぶり、外部評価の結果の説明、今後の課題について報告し、家族会や地域との相互交流についても話し合っています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者のホームでの研修を受け入れたり、相談を持ち込んだりしています。また市の担当者は地域のグループホーム事業者を集め研修会や意見交換会を実施することを計画しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が訪問する機会は多く、面会時には利用者の生活ぶりや往診時の受診記録をみせて健康状態を報告しています。利用者の健康や安全については必要な時には電話でも報告をしています。毎月「平和苑だより」を発行し、行事や生活状況について写真とともに報告しています。預り金の使用額と残高については領収書とともに毎月家族に送付し報告をしています。家族が出納帳を確認する際には、サインを得ることが望まれます。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応するとともに、家族会の時にはアンケート調査を行って要望を聞き、ご意見箱を設置し家族の意見を表せる機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の配置人数は多く、離職をする際には、早めに申し出てもらうことにより、計画的な職員配置ができ、利用者に与える影響が少なくなるよう配慮しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に対する取り組みは熱心で、職員の希望に応じて外部研修に参加させています。内部研修は月1回実施し、伝達研修や自主的なテーマによる勉強会が実施されています。週1回のミニカンファレンスでは当番担当者を決め、「やさしさを意識する」「何でも情報集め」等のユニークなケア目標をたて職員が実行し、結果を記録して更なる向上を目指し話し合っています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は地域のグループホームと職員の相互交流研修を計画し近々実施する予定です。また市の担当者は地域のグループホーム事業者を集め研修会や意見交換会を実施することを計画しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の職員の家庭訪問や利用者によるホームの見学、日中の体験入居を通じて馴染みの関係を作り、家族や利用者の不安を取り除き、安心して入居しサービスを受けられるようにしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	利用者が孤立することなく安心して日々の生活を送れるよう、それぞれが得意なことや仕事を持ち、ホーム内で役割を持って生き活きと活躍できるよう支援しています。料理が得意な利用者から教わることもあり、和裁の得意な利用者が集まり、食卓用のテーブルクロスや廊下の暖簾を作ったりするなど、生活を楽しくしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望に沿えるよう把握に努め、生き活きと生活を楽しめるように利用者の思いや意向に合わせた生活を支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ユニークな「プロフィール&なんでも情報」を作成し、利用者の過去の生活歴を把握するとともに、利用者の現在の暮らしや心身の状況からアセスメントを行い、医師や看護師の意見、利用者と家族の意向・願いを反映した介護計画を作成し、家族の同意も得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には3ヶ月毎に、状態の変化がある時はその都度見直しをすることになっています。しかし、介護計画上の援助項目内容と連動しながら定期的にモニタリングを行い、利用者と家族の意向を聞き、カンファレンスを行った上で介護計画の見直しをするという業務の流れが確立されていないため、見直しも円滑に進めることができていない状況です。	○	介護計画の見直しにあたっては、実施した援助の結果を項目毎に定期的にモニタリングを行い、利用者と家族の意向を聞き取った上で、全職員でカンファレンスを行うことにより、介護計画の見直しにつなげていくことが求められます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体の病院と医療連携体制をとり、病院の看護師と連携して、利用者の状態に合わせ必要な看護を提供しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	歯科や精神科については、希望により以前からのかかりつけ医師（医療機関）に引き続き医療を受けている利用者もあり、必要に応じて通院介助をしています。母体病院と連携し夜間や急変時の対応についての体制整備も整っています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームの指針としては看取り実施の方向で、近い将来に備え「事前意向確認書」で家族の意向を確認しつつあります。利用者・家族と医師との話し合いや、利用者・家族とホームとの話し合いをし、医師の助言と指導により対応していく予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員による言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。利用者には笑顔が見られ落ち着いた様子で過ごしています。個人情報の取り扱いについても職員に書面で周知徹底しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと好きなことをしながら暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は利用者の希望を聞きながら作った献立表に添い、週2回の買物、下ごしらえ、調理、後片付けにいたる一連の流れを利用者も参加しながら楽しんでいます。ホームの菜園で収穫した野菜を調理する場合があります。職員は同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しく和やかな雰囲気を作っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は隔日に、夕食後ゆっくり寛いだ入浴ができています。希望すれば毎日でも入浴ができます。入浴を拒否する利用者についても、「好きな歌の練習をしましょう」と声をかけたりして、工夫をしながら対応しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	「プロフィール&なんでも情報」を活用し利用者の生活歴や力を活かした役割、楽しみごと支援をしています。利用者がそれぞれ計画をたてて、隔月に買物や外食、映画に出かける「個別外出」はユニークな取り組みになっています。他にも毎日の家事、編み物をしたり、水彩画を描いたり、般若心経を写経したり、ドリルをしたり、読書等利用者一人ひとりが楽しんでます。9月の家族会に向けてフロア毎に芝居やミュージカルの練習にも励んでいます。この芝居は家族の会の催しにも出演する計画が進んでいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者それぞれが計画をたて、隔月に買物や外食、映画に出かける「個別外出」がユニークですが、毎日の散歩や買物、外食、季節の花見にも出かけて楽しんでます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、職員が見守りできる時間帯に玄関ドアやフロアドアを開錠しています。職員の見守りの方法を徹底し利用者は自由に外出ができるようになってます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策のマニュアルが作成され、9月に自主的な消防避難訓練を実施するとともに、年度内にもう一度消防署の協力を得て、避難訓練を実施する予定です。食料と水の備蓄については冷蔵庫や収納庫に在庫があり、最低限の量は確保されています。非常・災害時のための食料品と水の備蓄について「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成しておくことが望まれます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量について記録をとっています。水分摂取量は、全利用者について1週間にわたり水分摂取量の計測記録を行い、個人別の摂取量の特徴を掴み、水分摂取量の目標を決めています。栄養バランスについては母体病院の看護師からアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関周りには季節の花、植栽や菜園があり、観葉植物、装飾品や絵画が飾られ訪ねやすい雰囲気になっています。少し縦長のリビング兼ダイニングルームには、長い調理台があり、多くの利用者が集まって作業ができるようになっています。また利用者が作成したパッチワークのテーブルクロスを食卓テーブルに敷いています。少し離れたリビングには、ソファが配置され利用者が自由に過ごせる居場所が確保され、全体としてすっきりと落ち着いた雰囲気になっています。ベランダへの出口に面した廊下の端には、手作りの暖簾越しに椅子と季節の花を飾ったミニテーブルがあり、ここも寛げる居場所になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレがあり、洋服ダンスと整理ダンスが備え付けてある居室には、利用者がそれぞれ、ベッド、ソファ、椅子、飾り棚、神棚、遺影、装飾品、家族の写真、テレビ、和裁道具、習字道具、開放した扉の前には目隠し屏風等、使い慣れた馴染みの古い物や生活用品を持ち込み、利用者が安心して過ごせる場所となっています。		